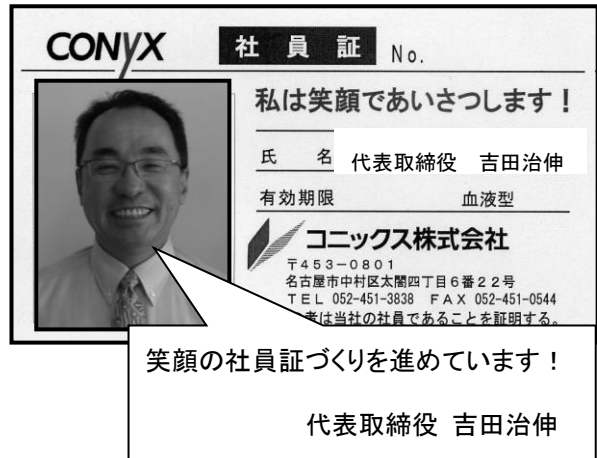


私どもが目指すもの

秋晴の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、先日、良い内容の社内メールがありましたのでご披露したいと思います。



要約すると、『少し、急ぎ気味で運転していた時の事。横断歩道で小学生の集団に遭遇。しかたなく、止まる。なかなか渡りきらない小学生たちにイライラ。「今日は、運が悪いなあ」と思った瞬間、渡り終わった小学生たちが「ありがとうございました。」と大きな声で丁寧にお辞儀をした。……「感動」「止まって良かった」「また、止まってあげよう!』そんな話です。

私は、サービスにおいて、こんな瞬間を演出できたら良いなあといつも思っています。私たちのサービスは、案外、接した人に「幸せな気持ち」や「さわやかな感動」を差し上げられる影響力の強い仕事だと思っています。3K(汚い、きつい、きけん)と呼ばれる仕事が多い当社のサービスだからこそ、「丁寧」「挨拶」「笑顔」は予期せぬ「感動」や「勇気」や「元気」を創りだす事ができるのです。

この小学生たちの「お辞儀」のようなサービスを行いたいなあ。そんな喜びをみんなに差し上げませんか？

まわりのみんなを幸せにする事によって得る事のできる幸せ。それも簡単な心づかいだけで。やっぱり、この仕事はおもしろい。